

大阪市長 橋下 徹 様

## 平成 27 年度経営評価に関する提言

大阪市では、平成 26 年度より外郭団体（以下「団体」という。）への経営評価を導入し、大阪市外郭団体評価委員会（以下「委員会」という。）において、平成 26 年度の経営目標の達成状況及び、市の評価・助言等（案）並びに平成 27 年度の経営目標の設定に関し、団体及び所管局にヒアリングを実施し、審議を行った。

これを踏まえ、委員会は、今年度は経営評価の導入初年度であったことなどに鑑み、経営評価の実施に関する課題と今後の改善点について、以下のとおり意見を述べる。

大阪市においては、委員会による下記の意見を踏まえ、経営評価のさらなる改善を進めるとともに、引き続き、団体の適正な監理に努められたい。

### 記

#### 1. 経営評価の実施時期について

経営目標の設定について、昨年度は 5 月から 8 月にかけて実施したが、今年度は経営目標達成状況の評価と経営目標の設定を今後の団体運営に反映させるため、株主総会等の時期を考慮して 4 月から 6 月に前倒しして実施した。

しかしながら、経営目標達成状況の評価は初めてであったためか、4 月の委員会には各団体が作成する経営目標達成状況の評価等の審議資料が間に合わず、5 月に審議案件が集中したこと、また、決算額が確定しないために 6 月末までに経営評価が実施できない団体（委員会が、暫定数値による資料作成も可としていた）が生じるなどの課題も見受けられた。

来年度以降、経営評価の実施にあたっては経営目標達成状況の評価と経営目標の設定を分けて審議するなど実施方法・時期について検討されたい。

なお、多くの団体の事業年度は 4 月を期首としていることから、事業計画は当年度 4 月までに策定されているのが通常である。また、各団体における事業計画の目標達成の成否は当該団体の当年度における事業計画・目標の妥当性、相当性を基礎づけるものであるから、前年度の事業計画達成の成否は期末直後の暫定数値によっても判断可能なはずである。

本市が各団体に提出を求める経営目標達成状況の評価と経営目標の設定はいずれも前年度および当年度の事業計画・成果の数値を参照して作成することを想定しているのであるから、各団体においては、経営目標達成状況の評価及び経営目標の設定を早期に提出されたい。

## 2. 経営目標の設定について

団体が事業を改革向上させていくため、経営目標は安易に前年度実績を維持するだけではなく、より高い目標値を設定することが望ましい。しかしながら、事業によっては年度ごとに実績が大きく変動する場合もあることから、委員会においては、実情を把握しその理由を審議した上で、実現不可能な数値を当初から設定するのではなく、前年度実績の維持、更にはマイナスの目標値を設定することも認めている。

また、経営目標は、数値による指標を設定することが望ましいが、数値以外の指標を設定する場合は、その達成条件を他者が客観的に認識できるように明確にする必要がある。

各団体は、経営目標の設定にあたって、その重要性や実現性を十分に認識し、より高次のしかも実現可能な、かつ認識可能な数値を設定されたい。

## 3. 経営目標の達成状況評価について

各団体は、経営目標の設定とあわせて、個々の目標を達成した場合の点数（ウエイト）を設定しているところであるが、経営評価制度に関する周知及び理解が不十分であったせいも、適切な点数（ウエイト）を設定できていない団体が見受けられた。

このため、団体運営の実績としては良好な結果を示しているにもかかわらず、点数に結びつかなかった団体、また、複数の目標をまとめた点数（ウエイト）を設定し、目標を1つでも達成できないと点数があがらない団体が存在するなど、今回の点数（ウエイト）の結果は、団体の実績が的確に反映されているとは言い難い状況である。

こうした状況を踏まえ、今後は、団体の実績が点数（ウエイト）に正しく反映され、団体運営の評価が的確にできるよう各団体においては、経営評価制度について十分に理解した上で点数を配分されたい。

なお、今回の経営目標の達成状況評価における点数（ウエイト）とその点数の結果については、形式的に点数を公開することにより、団体の運営及び大阪市の意思決定に影響するおそれがあることから、非公開として取り扱われたい。

平成 27 年 7 月

(大阪市外郭団体評価委員会委員)

阿多 博文

上島 健二

香川 芳江

滋野 由紀子

三原 秀章

(50 音順)